

※ 今週のアウトルック (10/7~10/11)

先週は、一転してドル安円高の流れとなりました。

週末に発表された米国雇用統計は、失業率が改善されこれまでの流れに歯止めがかかり、幾分持ち直した形で週末を迎えています。

今週は、米国雇用統計発表の影響がどのように各国の市場で消化されていくかに、まずは注目が集まりそうですが、米国を始めとした景気後退観測に歯止めがかかるには、いささか不十分かもしれません。

先週ドル円は108.5円のレジスタンスを破れず、一転して木曜日には106.5円付近まで下落しました。金曜日に発表された米国雇用統計は失業率の改善に注目が集まり、発表後しばらく上昇しましたが、NY市場後半では引き戻されたまま終了しています。

今週は、米国雇用統計の失業率改善と、非農業部門雇用者数の減少を市場がどう解釈するか、まずは注目が集まりそうですが、米国の景気後退観測に歯止めをかけるには材料不足のように思います。

ドル円の予想レンジは106円から108円です。

先週ユーロドルは、サポートラインからの反発を見せたものの、上昇トレンドへの反転とまでは至っていないようです。

今週は、ユーロ円の再び116円割れを目指そうとする動きが活発化されるかどうか、注目されますが、今週116円割れとなる可能性は少ないように思います。

ユーロ円の予想レンジは116円から120円です。

ポンド円は、ジリ下がり的な展開となっています。

EUからの離脱についても、あまり良い材料がなく、この点が解決されない限りは、再び130円以下を目指す展開となりそうです。

ポンド円の予想レンジは128円から134円です。

今週は米ドル安トレンドに歯止めがかかるかどうか、まずは注目が集まりそうですが、普段あまり注目されない経済指標にも、敏感に反応するやもしれません。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。